

甲南大学
合格対策セミナー

12月23日(金・祝)

10:00~12:00(9:30より受付開始)

難波御堂筋ホールにて

年明けから始まる一般入学試験。出題傾向・対策について、わかりやすく解説します。甲南大学の受験を考えておられる方、不安や疑問に思っていることがある方は、ぜひお越しください。予約不要で、希望者には一般入学試験要項を進呈します。

詳しくは甲南Ch.で検索を。

【お問い合わせ先】

甲南大学入試センター

☎078-435-2319

平日/9:00~17:00、土曜/9:00~13:00

甲南Ch.

検索



座学だけでなく歴史の現場に向くフィールドワークも東谷ゼミの特徴だ。毎年、春の遠足と秋のゼミ旅行では各地の博物館

フィールドワークで幅広い視座を養う

東谷ゼミは歴史好きの学生が集まっている。12月2日には学生同士の座談会が開かれた。そこで討議資料とされたのが毎年1年次を対象にした授業で東谷教授が実施する「好きな歴史上の人物」に関するアンケート結果だ。織田信長や豊臣秀吉、坂本龍馬に人気が集まり、戦国時代や幕末といった激動期に活躍した人物への関心が高いことが判明。歴史に興味を持った動機に質問が及ぶと「大河ドラマ」「漫画やゲーム」といった声が多く、「昔のように歴史小説を読んで目覚めた若い世代はいまや少数派」と東谷教授は分析する。



**歴史好きが
切磋琢磨するゼミ活動**

甲南大学文学部歴史文化学科
東谷 智教授

大河や時代劇、漫画で歴史に開眼

甲南大学岡本キャンパス(神戸市東灘区)。毎週金曜日に、文学部歴史文化学科の東谷智教授による2、3年次の合同ゼミが行われる。可動式の机やイスを配置し、自由な討論ができるアクティブラーニング(能動学習)型の講義室で毎回趣向を凝らした授業を企画。4年次のゼミ生もファシリテーター(学習援助者)役として参加する。

や城などを見学。

今年の秋は愛知県の徳川美術館や犬山城、博物館明治村を巡った。ゼミ生は自分の関心に応じたテーマを選び、年数回のプレゼンテーションを経てレポートを提出。分量は2年次が8000字、3年次が14000字とかなりのボリュームで「秀吉を支えた経済基盤」「水戸黄門像の形成過程」「大奥の暮らしと文化」などのテーマが選ばれている。東谷教授は「どんな小さなことでもいい。何か新しいことを発見してほしい」とエールを送る。

東谷ゼミの魅力は何か。「自分の目で歴史の事実を確認できること」と語るのは4年次の高嶋晋之介さん(21)。高嶋さんはゼミ遠足で大政奉還の舞台となった京都・二条城を訪れた際、教科書に掲載されている広間が実際は大名が入りきれないほど小さな部屋だったことを知ったという。旅行会社に就職が内定し「ゼミで学んだことを添乗員として生かしていきたい」という。また、2年次の平松明香璃さん(19)は「ゼミ生はみんな個人的で歴史好き。自分の好きなことが語り合える同志のような存在です」と話す。

東谷教授は「歴史の検証には自分の目で確かめる作業が不可欠。これまでにない別の視座で物事を見る習慣がつけば、社会に出ても必ず役立つはず」と話している。